

2015 明治安田生命 J2 リーグ
第40節

vs. ファジアーノ岡山戦

11/8 16:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

2015J2

■順位表 ■第39節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1 大宮	79p	+33	66	33	H●	A●
2 磐田	75p	+26	66	40	A○	HO
3 福岡	73p	+18	54	36	A△	
4 C大阪	64p	+20	55	35	H●	A●
5 愛媛	59p	+5	43	38	HO	A●
6 長崎	57p	+10	37	27	HO	A●
7 東京V	57p	+5	42	37	A●	H●
8 千葉	54p	+7	49	42	A●	HO
9 北九州	52p	-1	53	54	A●	HO
10 札幌	51p	0	40	40	H●	AO
11 熊本	51p	-2	39	41	A○	HO
12 金沢	50p	+1	41	40	H●	A△
13 徳島	50p	-5	33	38	A●	H●
14 岡山	49p	+4	38	34	A●	
15 群馬	48p	-16	33	49	H△	AO
16 横浜FC	45p	-27	31	58	A●	H●
17 京都	44p	-7	42	49	H△	A△
18 讀岐	44p	-8	24	32	HO	
19 水戸	42p	-7	36	43	H△	AO
20 岐阜	42p	-28	36	64	---	---
21 大分	38p	-7	38	45	A●	H●
22 栃木	34p	-21	36	57	H●	AO

次回HomeGame

第42節(最終戦) vs. アビスパ福岡
11/23(月・祝) 14:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel: 058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど...
心 痊される..
忘れていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : ファジアーノ岡山

2014 J2 15勝16分11敗 勝ち点61: 8位

直近の対決と結果

2015/03/08
J2 - 1節 @ Cスタ

岡山 3-0 岐阜

ここ3試合の公式戦の結果	
FC岐阜	ファジアーノ岡山
2015/11/01 J2-39節 @ニンスタ 愛媛 3-0 岐阜	2015/11/01 J2-39節 @Cスタ 岡山 1-2 讀岐
2015/10/25 J2-38節 @長良川 岐阜 1-0 千葉	2015/10/25 J2-38節 @味フ西 横浜FC 0-0 岡山
2015/10/18 J2-37節 @長崎県立 長崎 2-1 岐阜	2015/10/18 J2-37節 @Cスタ 岡山 0-0 金沢

●10月最後の試合である10/25(日) 第38節のホーム戦は、今月のFC岐阜の不調を吹き飛ばすかのような一戦となった。強豪・ジェフ千葉を相手にしながら球際での競り合いに勝って互角以上に戦い、CKから#20岡根直哉の見事なボレーシュートで先制。この1点をしっかりと危なげなく守りきり、貴重な勝ち点3を挙げることが出来た。しかし、続く11/1(日) 第39節・アウェイ愛媛戦は、非常に残念な試合になってしまった。千葉戦で見せた良さが影を潜め、相手の素早い寄せに対応できず後手を踏んで失点を重ねるFC岐阜。結局、0-3での敗戦となつた。せっかく良い勝利を掴んだ次の試合で、こうした試合で敗れるのは非常に勿体ない。ただ、こうしたチームの好不調の波が、残念ながら現在の順位に現れていると見ることもできるだろう。今季は残り3試合。気持ちを切り替えて、次の試合を全力で戦って欲しい。千葉に勝ったことで順位を20位から17位に上昇させたFC岐阜だったが、愛媛に負けたため、再び順位は(残留ラインぎりぎり)20位に転落した。ただし、千葉戦の前に比べると、21位(=入れ替え戦出場)・大分との勝ち点差は4と変わらず、22位(=J3自動降格)・栃木との勝ち点差は8に広がっている。J2残留に向けて、ゆっくりではあるものの、着実に一步を進めているところだ。もしも今節の終了後、22位との勝ち点差が7になれば自動降格圏を、そして21位との勝ち点差が7になればJ2残留が決まる。また、勝ち点差3に16位(横浜FC)がいるため、まだ順位を上げることも望める状況だ。その為には勝ち点3が欲しいところだ。今節は勝ち点3を積み上げるための試合を見せて欲しい。

さて、今節の対戦相手はファジアーノ岡山。9月には順位を10位にまで押し上げ、プレーオフ圏内を目前にしていたが、4戦未勝利となって現在の順位は14位。勝ち点差を考えると、(不可能ではないが)現実的にはプレーオフ進出は遠のいている。昨年の成績(8位)を考えると、5年間続いた影山監督に代わって指揮を執る長澤監督体制1年目ということで、チームの成熟度が若干影響していると思われるが、それでも(現在の)FC岐阜よりは上位のチームだ。当然、楽な対戦相手ではない。岐阜との通算対戦成績は6勝4分4敗、19得点16失点。若干岐阜の方が分が良いが、ホームでは2勝2分2敗、9得点7失点と互角だ。それに、今シーズン開幕戦となった3/8(日)のアウェイ戦では0-3と手痛い敗北を喫している。岡山の要注意選手は、やはり9ゴールを決めている#14押谷祐樹だろう。かつて磐田からレンタルで3年間(09~11年)岐阜で活躍した彼も、今では岡山のエースだ。彼と共に闘った経験がある選手は#17野垣内俊だけになってしまったが、両選手のマッチアップには注目したい。一方の守備面では、やはり鹿島の黄金期を支え続けた#35岩政大樹の存在が要注意だ。今シーズンの岡山は総失点が34とリーグ4位の少なさであり、これは大ベテランのCBの功績が大きいだろう。この守備陣を崩さなければ岐阜の勝利は見えてこないが、岐阜の攻撃陣では、特に岡山県出身の#24難波宏明の久々のゴールそして“難波劇場”に期待したい。また岐阜は、チームの主軸として今シーズン全試合ほぼフルタイムで出場していた#6高地系治が、累積警告で出場停止なのが不安材料だ。今シーズンまだ経験していない、高地が不在の試合。ここに誰を充てるのか、ラモス監督の采配が問われるだろう。また起用された選手たちも、チーム一丸となって高地の穴を埋める、いやそれ以上の活躍を見せてほしい。

3月に開幕し、長かった全42節の今シーズンも、いつのまにか11月に入り、残り3試合。肌寒い季節になったが、岐阜の選手たちの活躍と勝利で身も心も熱くなる、そんな試合を選手には見せてほしい。僕らもJ2残留を決めるために、選手たちを信じて最後まで全力で声援を送り続けよう。

(ささたく)



「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休: 月曜日

投稿募集 !!

gidaidohri@
hotmail.co.jp

【第38節】岐阜 1-0 千葉

●試合の翌日、「行かれたんですか？昨日。」と聞いてきたのは職場の清水サポ。「うん、いつも通りに。」と答えたら「おめでとうございます。シビレる試合でしたね。」と言ってくれた。見てくれてたのかな？ただ、スコアと展開はシビレる要素があったけど、内容的には双方とも……って感じだったがどうだろう？少なくとも、ウチ的には「あんだけのチャンス外してたら、フツーやられるよね？流れとして。」と思ったワケで。試合中の千葉が、自分の記憶に残っている千葉とは違う千葉で助かった。前節のアディショナルタイムでの同点劇といい、この試合といい、ずいぶん援護してもらった。来季もぜひやりましょう！

試合当日は、今季一番の寒さ。「なんで、この時期にナイト・ゲームなの？」とこぼしたいが、これも諸般の事情。いろいろな兼ね合いがあるのは今に始まったことじゃない。ただ、一斉開催のJ2でウチの試合だけがナイト・ゲームってのもなあ……。おかげに木枯らしも吹き荒れるし。それでも、ついにJリーグ女子マネージャー・佐藤美希さんも来てくださったし、応援マネジャー・伊藤寧々さんとともに菓子まきで盛り上がった後で入場したスタジアムは思いのほか寒くなく、観戦には支障がなかったが、佐藤さんは楽しめたかしらん？試合は久しぶりにエンドが逆になって、ジウシーニョの珍しいシュート・ミスとかもあったが、17番のクロスから岡根のヘッドは惜しかった……。それにしても、ひとつフェイントを入れて相手DFを交わし、ワンタッチでのピンポイント・クロスにはホレボレしたなあ～。これからもこういうのをどんどん見せてくださいね、野垣内さん。後半には宏矢の決定機があったけど、ニアにはコースがないのはよく見えた。ファーを狙ってたら、と思ったがDFがコースを消していたのかもしれない。

そんな中で飛び出した決勝弾。ネットが揺れた瞬間はウソ偽りなく痺れた。誰のゴールかはわからなかつたけど（苦笑）。岡根には最敬礼で感謝を伝えたい。試合後のインタビューでも笑いを取って、さらに印象を強める辺りはさすが大阪出身。ウチには珍しいタイプだ。

でも、勝つってホントにいいね！試合後の200キロ運転も楽勝だったし、3時間しか寝てなくても目覚めスッキリだし（笑）。それでも、まだ何も手にしちゃいない。それを忘れちゃいけませんね。

（ぐん、）

●こつちは降格圏ギリギリの20位。向こうはプレーオフ進出圏ギリギリの6位。どちらも勝ちたい（勝ち点3が欲しい）けれど、負けないための試合運びも必要になる、そんな難しい試合。だけど相当に（僕らにとっては）厳しい試合になるのだろうと、僕は予想していた。…ところが、だ。試合開始からお互い出方をうかがって慎重に進むんだと思いきや、岐阜の方が勢いがある。いや千葉の方が、この大事な試合の雰囲気に飲まれてしまったのか？それとも前節も（21位の）大分にロスタイムで辛うじて引き分けたぐらいだから調子が落ちてたのか？ってなぐらいに勢いがないとも言えるかも。もちろん上位チームの千葉だからボロボロな出来ではないんだけど、それでも球際の競り合い、セカンドボール、そしてシュートでも岐阜の方が優勢。コントロールで陣地の入れ替えを選択したのは千葉だった（つまり前半に千葉サポ側に攻めることを選択した）んだから、いわゆる「前半は死んだふり」作戦ってこともないだろうに…と不思議に思っていたのは僕だけだったんでしょうか（苦笑）。

こんな試合を見ていると、古くさいサポの僕なんかは、つい思い出しちゃってた訳ですよ、2009年の天皇杯を（苦笑）。あの時も確かこんな感じで、確か（今はFC東京の）CB吉本一謙が、CKから決めた1点を自ら身体を張って守りきって勝ったよなー、そういうえば千葉に勝った3試合って全部1-

0だよな、今日はもしかして…なんてことを頭の片隅に思いながらいた訳ですよ。そしたら！ホントにCKから、CBの#20岡根直哉が見事なボレーシュートを決めて先制して！そして相手のボールをことごとく跳ね返して守りきって勝利して！ホントに記憶が再現されたみたい…いや、悪夢が再現されたのは千葉さんの方だったかもしれない（苦笑）。でも、あの時は押されまくったのを何とかしのいで、ギリギリの状況で勝った試合だったけれど、今回は違った。千葉の実力が落ちたのか岐阜の力が増したのか、あるいはその両方か。千葉に「勝ちきった」そして貴重な勝ち点3を手に入れた、そういう価値ある勝利だったかなと思いました、はい。（さたく）

FC岐阜、残留の条件を整理。

●残り3試合で、FC岐阜はいまだにJ2残留を決められていません。そこで、ちょっと状況の整理をしてみましょう。

	岐阜 勝点42	大分 勝点38	栃木 勝点34
第40節 11/8	vs 岡山 home	vs 横浜FC away	vs 北九州 away
第41節 11/14	vs 讃岐 away	vs 大宮 away	vs 京都 home
第42節 11/23	vs 福岡 home	vs 磐田 home	vs 札幌 away

「どこもラクな試合なんてない」のは承知の上で、残りの対戦カードを観てみると、やはり「大分が厳しい相手を残している」という印象は拭いきません。ただ、それはFC岐阜にも言えることであって、磐田と福岡が勝ち点2の差で「J1自動昇格圏内」を争っている（磐田が2位で福岡が3位）現状が最終戦まで続くようだと、両チームとも我々の残留争いと同様、あるいはそれ以上のモチベーションで相手に襲い掛かってくることになるでしょう。自動昇格の2位とプレーオフまわりの3位とでは雲泥以上の差があるのは周知のところです（2012年からこれまでプレーオフは3回行われていますが、3位のチームが勝ちあがって昇格を手にした例はありません）。

一方の栃木ですが、ここも札幌がプレーオフ圏内入りの可能性を残して最終戦を迎える状況になると厳しくなります（北九州はJ1ライセンスが交付されていないのでプレーオフの参加権はなく、「圏内入り」に深い意味は持ちません）。

FC岐阜は、この3チーム内では得失点差ではもっとも不利な状況なので、たとえば岐阜が3試合で1分2敗、栃木が3連勝で勝ち点で並ばれた場合だと、得失点差で栃木の下になります。逆に言えば、1勝でもすれば自動降格の22位になる可能性はなくなります。

3チームでホーム戦を2つ残しているのがFC岐阜だけというのも、有利な点です。我々のサポートで選手を大いに勇気付け、思いっきり戦ってもらえる環境を作りましょう。

（編集人：吉田鉄造）

【第39節】愛媛 3-0 岐阜

●またしても、ニンスタでの得点ならず。よかつたのは雨が降らなかつたことだけ、と言いたくなるような結果。もちろん、そんなはずはなく、全員が精一杯戦っていたし、試合開始からウチのペースで攻め続けるという珍しい展開。相性がいいと勝手に思っている木山監督率いるクラブとの対戦だったが、ジンクスを打ち破るのは来季以降に持ち越しとなってしまった。帰宅してからの録画観戦だと「圧倒的じゃないか、我が軍は！」とさえ思えるような気もしたが、やはり決めるべき時に決めておかないとこうなるという見本のような失点と結果。3失点は久しぶり。アウェイ大宮戦以降は必死でガマンしてくれていたDF陣だったが、向こうのルーキーの2発にやられてしまったのが残念。シュート自体は敵ながらアッパレ的な2発だったけど、1点目はマークのズレ？一瞬の油断？だったように見えた。2点目も2対1の状況だったので、もう少しなんとかできたようにも思える。いずれも常澤にはノーチャンスだったと思うが、どうだろう？

2点差の残り10分くらいから岡根をトップに上げての大作戦。得点し、同点に追い付き、なおかつ勝つためには当然の手段と思うんだけど、いっそ和道も上げてしまうくらいでもよかつたんじゃないかな？岡根も和道も得点力あるんだから。あとはもう少し、岡根が競り合えるようなボールが出せるとよかつたんだけどね。相手もその辺はわかっているので、ことごとく上手くいくとは思っちゃいないけど……。

この日の松山はとても寒くて、試合の結果が余計身に染みたけれども、内容的には特別悲観をしていない。逆に言うと、この内容でこの結果だったことに脱力してもおかしくはないのかな？シュート数も公式では16対8。もちろん、枠内かどうかもあるし、それ以上に決まらなければ意味がない。数字と内容が一致しなかったのが残念だ。幸い、他会場での結果がウチにとってありがたいことになってくれた。大分や栎木には申し訳ないけど、こちらも譲れない。ゼイタクは言わない。とにかく、20位は死守！焦りもあるだろうけど、ラスト3試合をしっかり戦ってほしい。ボクも全試合に参戦して、後押しします！

(ぐん、)

●愛媛のホーム、ニンジニアスタジアム…8試合0勝5分3敗、そして0得点8失点…。つまりリーグに参入してから8年間、(失礼ながら) それほど成績上位でもない愛媛を相手にしながら、1度もネットを揺らせていないスタジアム。距離の遠さ、苦痛の不便さもあって、僕は“魔境・ニンスタ”と呼んでます(苦笑)。ところが今シーズンの愛媛は“必ず岐阜に勝ち点をくれる男”として一部で名高い(笑)木山隆之監督。これは！(一部の)岐阜サポ的には「ほこ×たて」ではないですか！今回こそはゴールを！勝利を！と乗り込んだ訳ですよ、ニンスタに…。

ところが、大事な試合を制した次の試合には気が抜けるのか、調子を落とすことが有るんですよね、ウチのチーム…(溜息)。試合の序盤の頃は押せていた(#9ジウシーニョのシュート惜しかった！)んだけど、徐々に劣勢に。前節と違って、明らかに選手間の連携がとれていない。セカンドボールが奪えない。愛媛の方がボールへの寄せが素早く、しかも前線からプレスをかけてくるので、ボールを持ってから考える時間がない。DFラインのボール回しにも寄せられ、すぐにボールを失ってしまう。逆に攻撃では愛媛は素早くボールを前に運び、岐阜の選手が寄せてくる前にボールを離すので、これまた守備がなかなか追いつかない。終わってみれば、0-3で完敗。シュート数では16本と愛媛の倍撃つた記録らしいんだけど、とてもそんな試合には見えなかった。恐るべし“魔境・ニンスタ”…(溜息)。

これなら千葉戦の方が…いや、少なくとも現在は、千葉より愛媛の方が順位が上のチーム、実力通りの試合結果だったと

気持ちを切り替えるしかない。「それにしても、プレオフが懸かった大事な一戦しかも松山市ホームタウンデーに5,134人ってのは大丈夫なのかしら。開幕前には“一騒動”あったし、クラブ的には色々とアレなのがな…」と、悔し紛れの減らず口を叩くことで、僕は気持ちを切り替えました(苦笑)。(ささたく)

●この日は柳ヶ瀬でパブリック・ビューイングがあるということで、行ってみました。試合開始の1時間前には着いたのですが、予想をかなり上回る人の入りで、着席も出来ず。この日は商店街で「ワイン・フェスティバル」をやってるので、“空のワイングラス”を持っている方も少なからずいらっしゃいました(会場は酒類持ち込み禁止だったので)。

ゲストには元・FC岐阜の小島宏美氏。試合前の結果予想は「2-1で岐阜の勝ち」。Jリーグに加入して以来、ニンスタで7回試合してFC岐阜はこれまで1ゴールも奪えていないという、まさに“ヘルゲート”と呼んでいい鬼門だということを小島氏はご存知で、それでいてなお「FC岐阜が2ゴール挙げる」と予想したのだろうか？(苦笑)

試合は0-3で、まさに「絵に描いたような『完敗』」。序盤の攻勢時にゴール奪えないからこうなる、ということも出来るけど、奪えたとしても守りきれたかは怪しいところ。個々の攻撃力は千葉の方が上だけど、チームとしての構築度・完成度は愛媛の方がずっと上に感じた。FC岐阜は、シーズン序盤の絶不調時のような「つなぎたいサッカー(つなぐサッカー、ではない)」をやったのか、愛媛にやらされちゃったのか。

最近のFC岐阜の好調の要因を「戦術はレオミネイロ、と割り切ったから」と言う方がぼくの周囲にいて、実はぼくも同意見なんだけど、そのレオミネイロがサイドに流れるシーンが多かったように思う。守備では、やはり「青木翼の不在」が大きかった。特別指定選手(現役の大学生)なので、“本業”的な事情で帯同出来なかったのかもしれないけど、そうなると高地には「ヘニキのサポート」と「攻撃のタクト」の両方が求められる。かなりの負担増。特別指定の青木にそこまで期待しなくちゃいけない、ってのもちょっと問題なんだけれどね。かくして、ニンスタの鬼門は続きます。愛媛がプレオフに出て勝ち上がってJ1行っちゃうと、鬼門のままになってしまうなあ……。

(吉田鉄造)

11/3 の J3 順位表。(上位のみ)

★3チームとも「J2ライセンス」保有です。

自動昇格 1 山口 33 試合 73p +58 88 30
残り A. 盛岡、H.U-22、A. 鳥取

入替戦 2 町田 33 試合 73p +32 48 16
残り A. 鳥取、H. 秋田、A. 長野(天皇杯あり)

3 長野 33 試合 66p +16 40 24
残り H.YS 横浜、A. 相模原、H. 町田

●山口が長野・藤枝と連敗し、ついに町田と勝ち点で並びました。1つの勝ち点が自動昇格と入替戦を分ける神経戦状態に突入です。得失点差を考えると、長野は自身が3連勝して、なおかつ上位陣が「良くて1分2敗」で終わる以外にJ2昇格の可能性がありません。最終節に長野 vs 町田があるとはいえ、かなり厳しい道程になりました。町田が天皇杯を残している(11/11に試合あり)影響がどう出るか、も注目です。『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。

(編集人：吉田鉄造)

